



“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取付説明書

LANCER EVOLUTION VIII,IX

CT9A

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載しております。
よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車両可能車両と製品の仕様

□車名 : MITSUBISHI LANCER EVOLUTION VIII,IX
□型式 : CT9A
□エンジン : 4G63
□年式 : 2003年01月～
□製品名称 : BLITZ INTER COOLER Chemical Shine
□製品番号 : 13114

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ■連絡先 : (株)ブリツツ | ■TEL : 0422-60-2277 |
| ■住所 : 東京都西東京市新町4-7-6 | ■FAX : 0422-60-0066 |

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車両を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、プローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車両の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車両によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発刊する整備手順要領書を基本におこなって下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車両法を守って走行してください。

取り付け作業者の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。
パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

■パーツリスト■

インターフーラーASSY	1	ブレケットH/C UPR	1	ブレケットH/C LWR	2	シリコンホースΦ60	2
	1		1		2		2
クランプΦ60用	4	カラー	1	ボルトM8X35	1	ボルトM8X12	4
	4		1		1		4

□組み付け作業手順□

■作業者の方へお願い！

- ・作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ・再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正品の新品に交換して下さい。

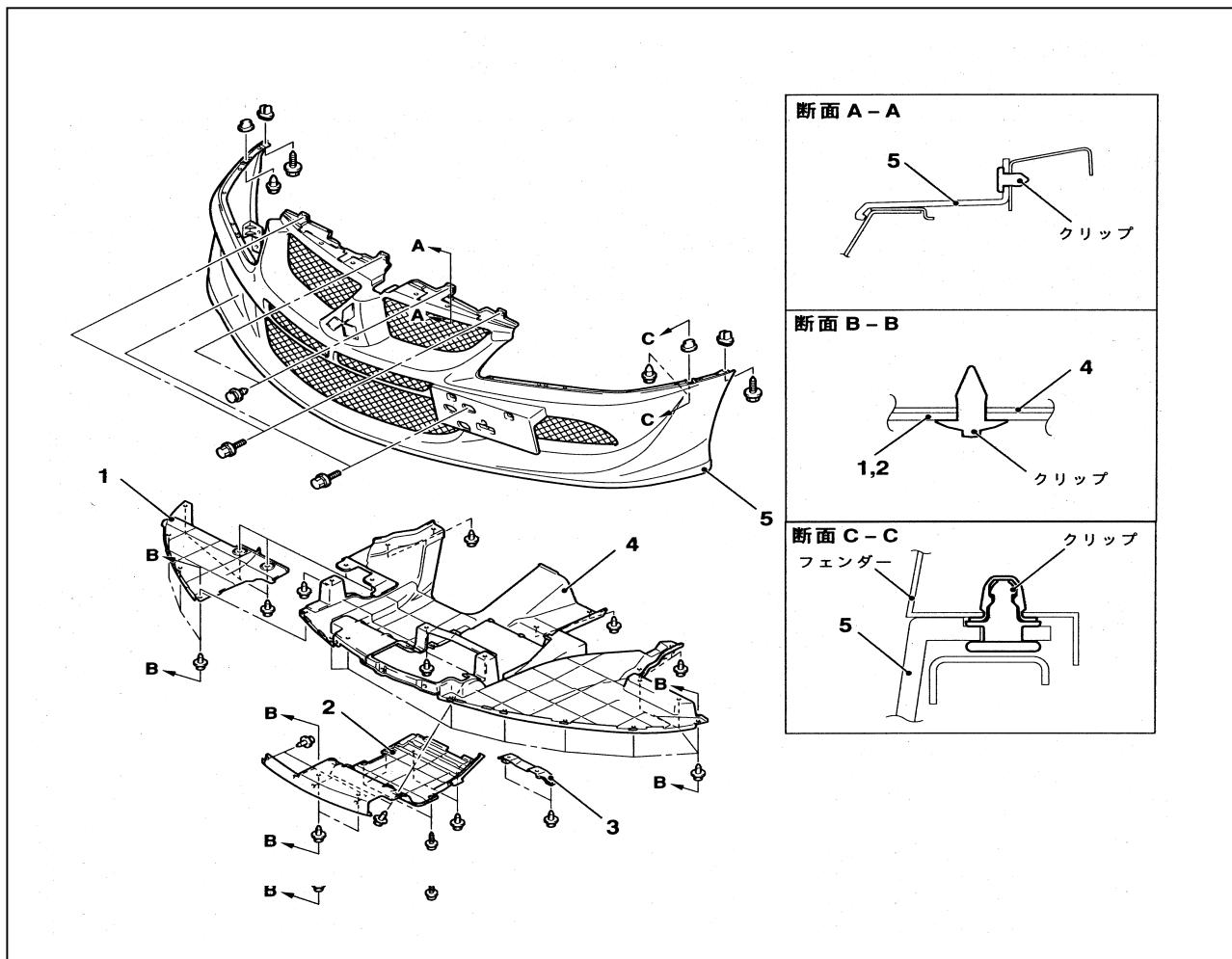
警告 作業中の怪我・火傷

- ・装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

■ノーマルパーツの取り外し■

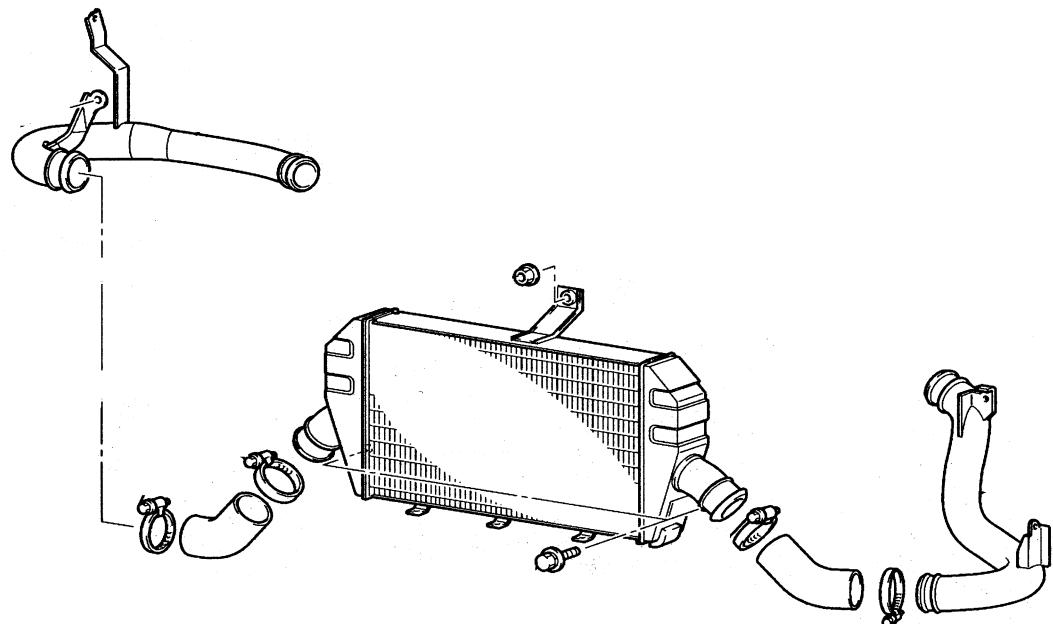
1、フロントバンパーの取り外し



- ①ナンバープレートを取り外します。
- ②バンパー中央部のボルト 2箇所（片側ナンバーフレーム裏）を取り外します。
- ③フェンダーカバーとバンパーとの取付クリップ（左右2個づつ）を取り外します。
- ④アンダーカバーとバンパーとの取付クリップを取り外します。
- ⑤バンパーサイド上端面のボルト（左右2個づつ）を取り外します。
- ⑥グリル上面のボルト 4箇所を取り外します。

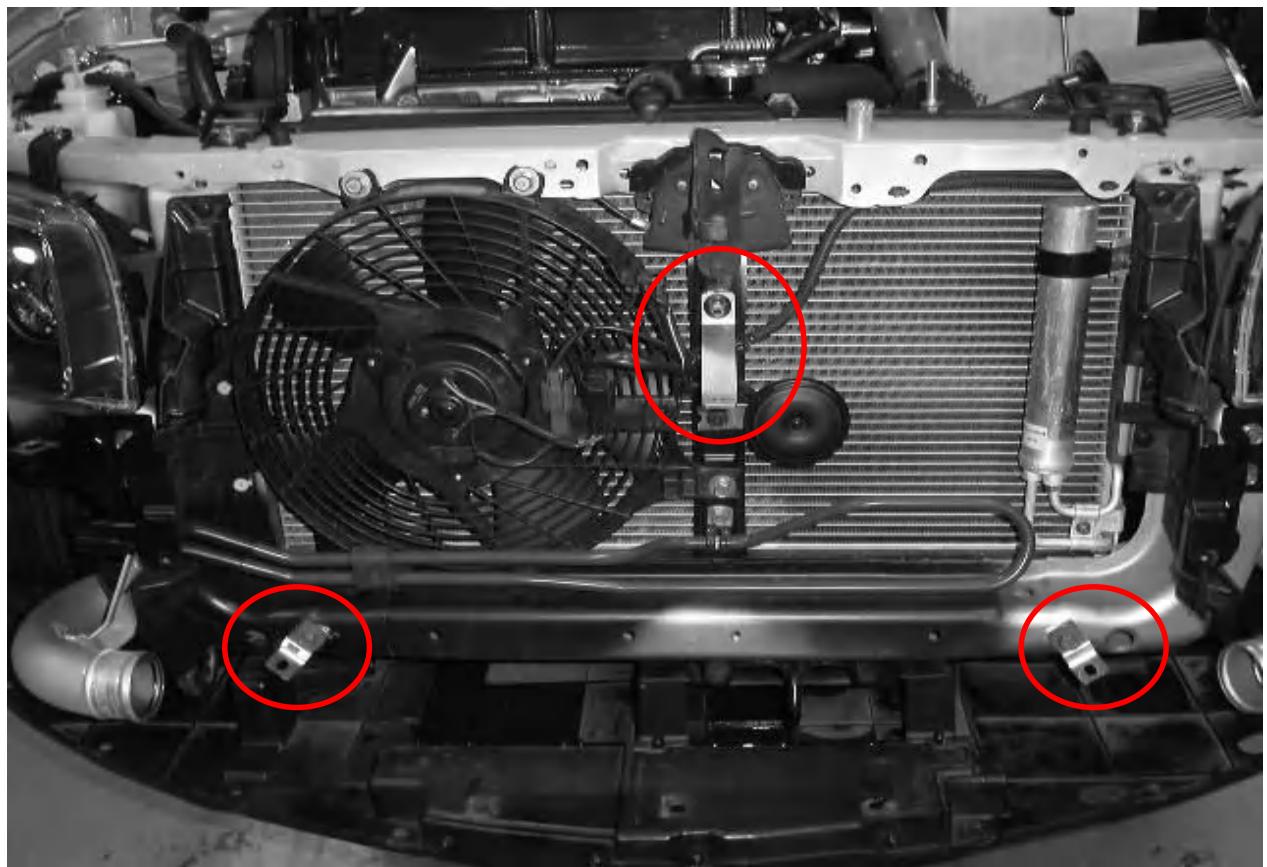
注意 ボルト、クリップ類は再使用します。紛失しないように注意してください。

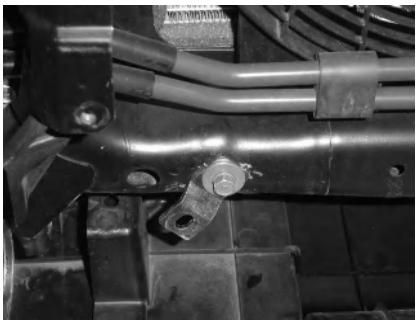
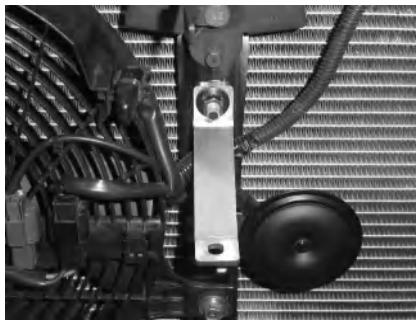
2. 純正インタークーラーの取り外し



- ①左右のエアホースのクランプを緩めてください。
- ②インタークーラー下部のステーとアンダーカバーとの取付クリップを取り外してください。
- ③インタークーラーパイプ下側にコアの固定ボルト（左右）がありますので、取り外して下さい。
- ④コア上部の固定ナット（再使用します）を取り外して下さい。

■KITの取付■





1、ステーの取付

上図を参考にステーを仮止めしてください。

①アッパーステー：車両側は純正のコアを取付けてあったナットを使用してください。

②アンダーステー：KIT 付属のボルト (M8×12) を使用して仮止めしてください。
長いほうが車両側です。

2、コアの取付

①KIT 付属のシリコンホースとクランプを使用してコアを車両に取付けてください。

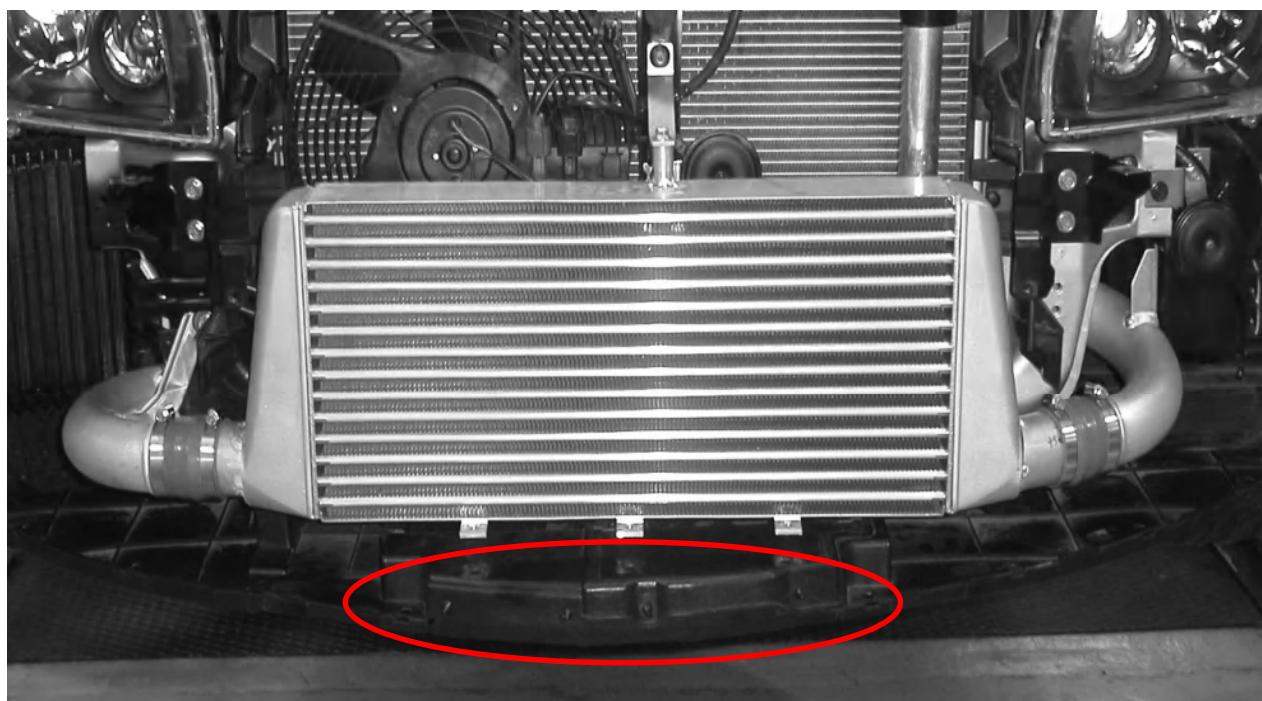
②アッパーステー部にはカラーとボルト (M8×35) を使用して仮止めしてください。

③アンダーステーとコアを仮止めしてください。

④コア溶接ステーとアンダーカバーを純正のクリップを使用して共締めして下さい。

⑤各部のクリアランスを確認して取付ボルトをまし締めしてください。

■バンパーの取付■



バンパーの取付にあたって上図の○部がバンパーより出てしまう場合は切除等の加工を行ってください。

■エンジンの始動にあたって■

- ・必ず換気のよい場所で行って下さい。
- ・コーナリングランプが点灯するか確認して下さい。
- ・各部品はしっかりと固定されているか、エアー漏れはないか確認して下さい。
- ・インターフーラーの配管を間違えていないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか、確認して下さい。
- ・配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

以上でK-Tの取り付けは終了です。

■テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認して下さい。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行って下さい。

BLTZ